

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年8月9日(2012.8.9)

【公表番号】特表2010-531208(P2010-531208A)

【公表日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-038

【出願番号】特願2010-515040(P2010-515040)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 M 37/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 M 37/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月6日(2012.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

開口部を含む空間充填材と、

筒状部と、

該空間充填材と連結され、該空間充填材の外側から該空間充填材の内部部分内に延びる注入部材であって、該注入部材は、該開口部と流体連絡する注入管腔を含み、該開口部は、該空間充填材の該内部部分内にある該注入部材の一部上に配置され、該開口部は、該注入管腔と、該空間充填材の該内部部分との間に流体連絡を提供し、該筒状部は、該空間充填材の該内部部分と向かい合う該筒状部の側面において、該開口部を覆う、注入部材と、

該空間充填材の該内部部分内の気腹流体であって、該気腹流体は、該注入管腔から該開口部を通って送達される、気腹流体と、

該注入管腔から該開口部を通って送達され、該筒状部と該開口部との間で受容されるオイルであって、該オイルは該気腹流体以外の材料である、オイルとを含む、胃空間充填装置。

【請求項2】

前記筒状部は、前記注入部材の周りに巻き付けられる、請求項1に記載の胃空間充填装置。

【請求項3】

前記筒状部は、前記空間充填材の膨張の間、気腹流体を該空間充填材に流入させる、請求項1に記載の胃空間充填装置。

【請求項4】

前記筒状部は、前記オイルが該筒状部と前記開口部との間に受容された後、前記気腹流体を前記空間充填材から流出させない、請求項3に記載の胃空間充填装置。

【請求項5】

前記注入管腔は、突起が該注入管腔内に挿入されるまで、流体の通過を減少させるゲートを備える、請求項1に記載の胃空間充填装置。

【請求項6】

鞘をさらに備え、前記鞘は、少なくとも部分的に前記空間充填材を覆う、請求項1に記

載の胃空間充填装置。

【請求項 7】

前記鞘は、ステッチによって、前記空間充填材の周囲に固着される、請求項 6 に記載の胃空間充填装置。

【請求項 8】

前記ステッチは、該ステッチを引張ることによって解放される、請求項 7 に記載の胃空間充填装置。

【請求項 9】

鞘解放クリップをさらに備え、該鞘解放クリップは、該鞘解放クリップが前記胃空間充填装置上に係合されている間、前記ステッチが解放されるのを防止し、さらに、該鞘解放クリップは、該鞘解放クリップが該胃空間充填装置から除去されると、該ステッチを解放させる、請求項 8 に記載の胃空間充填装置。

【請求項 10】

気腹流体を前記空間充填材に送達するように構成される送達管腔と、

該送達管腔に接続されるルアーと、

該送達管腔に除去可能に取り付けられるハンドルと

を備える、送達システムをさらに備え、該ハンドルは、内部区画を含み、該ルナーは、ハンドルが該送達管腔に除去可能に取り付けられている間、該ハンドルの該内部区画の少なくとも一部内に配置され、該ルナーは、該ハンドルが除去されるときに、露出され、さらに、前記ステッチは、該ハンドルが除去されるときに、該ステッチが引張られるよう、該ハンドルに取り付けられる、請求項 8 に記載の胃空間充填装置。

【請求項 11】

前記鞘は、前記空間充填材が膨張するとき、自動的に該空間充填材の覆いを取り、該鞘は、覆いを取った後に該空間充填材と接触したままである、請求項 6 に記載の胃空間充填装置。

【請求項 12】

胃空間充填装置を患者内に据え付けるシステムであって、該システムは、

胃空間充填装置に取り付けられる送達システムを備え、該送達システムおよび該胃空間充填装置は、患者の胃内へ食道を通して送達されるように構成され、該胃空間充填装置は、

開口部を含む空間充填材であって、該開口部は、該空間充填材の外側から該空間充填材の内部に延びる注入部材上に配置される空間充填材と、

筒状部であって、該空間充填材の内部部分と向かい合う該筒状部の側面において、該開口部を覆う、筒状部と、

該筒状部と該開口部との間のオイルと、

該空間充填材の少なくとも一部を覆うように構成される鞘と

を備えている、システム。

【請求項 13】

前記空間充填材は膨張するように構成され、前記鞘は、該空間充填材が膨張したときに、自動的に該空間充填材の覆いを取り、前記胃空間充填装置と接触したままである、請求項 12 に記載のシステム。

【請求項 14】

独立して充填される複数のチャンバを備えている胃空間充填装置であって、

1つのチャンバの予想外の収縮の際に、少なくとも1つの他のチャンバは、幽門を通る該胃空間充填装置の通過を防止するために膨張したままである、胃空間充填装置。

【請求項 15】

前記胃空間充填装置は、2つの独立チャンバを備える、請求項 14 に記載の胃空間充填装置。

【請求項 16】

前記チャンバは、胃の概略的な形状に一致するように配置される、請求項 14 に記載の

胃空間充填装置。

【請求項 1 7】

前記オイルは、石油ベースのオイルを含む、請求項 1 に記載の胃空間充填装置。

【請求項 1 8】

前記オイルは、鉛油を含む、請求項 1 に記載の胃空間充填装置。

【請求項 1 9】

前記筒状部の少なくとも一部は、前記空間充填材の内部部分の膨張の前に、前記開口部から離れるように動くように構成される、請求項 1 2 に記載のシステム。

【請求項 2 0】

前記筒状部は、前記注入部材の周りに巻き付けられる、請求項 1 2 に記載のシステム。

【請求項 2 1】

前記筒状部は、前記空間充填材の外側の圧力が、該空間充填材内部よりも大きいとき、前記開口部を通る膨張流体の通過を可能にするように構成され、前記スリーブは、該空間充填材の内部の圧力が、該空間充填材の外側の圧力よりも大きいとき、該開口部を通って該膨張流体が流出<sub>す</sub>することを防ぐようにさらに構成される、請求項 1 2 に記載のシステム。